

次期実施計画（素案）における バス路線、ダイヤ再編等の概要

—令和3年8月時点—

佐世保市における乗合バス事業の状況

【人口減少率とバス利用者減少率の現状比較】 ・ 佐世保市異動人口（毎年4/1現在） ・ 年間バス利用者

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3 - R1
人口	249,417人	246,903人	244,051人	240,951人	△5,952人
前年度比	—	99.0%	98.8%	98.7%	△2.4%
バス利用者	16,786,131人	15,331,237人	11,976,077人	(見込) 13,885千人	約△1,446千人
前年度比	—	91.3%	78.1%	116.0%	△9.4%

バス利用者は佐世保市の人口減少を上回る割合で減少しています。

R2年度、R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で激減。

R3年度においても、R1年度の利用者までの回復は見込めない。

【運転士数の現状】

H31.4	次期計画スタート時 (見込)	差引
302人	270人	△32人 △10.6%

現計画スタート時点と比べ、次期計画スタート時は運転士が32人不足する見込み。

【運行便数の推移】

H31.4	次期計画スタート時 (見込)	差引
1,668本	1,479本	△189本 △11.3%

需給バランスを踏まえたうえでの必要減便数の見込み。

【営業収支率】

	一体化前 (3社)	一体化後 (2社)		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
一体化シミュレーション	—	95.4%	95.3%	95.1%
実績	90.8%	89.0%	70.8%	(見込) 76.2%

新型コロナウイルスの影響によって、シミュレーションを大きく下回っています。

<ダイヤ編成等に当たっての方向性>

○一体化後の社会情勢変化への対応

- ・バス運転士数の減少への対応（運行効率化）
- ・コロナ禍の影響への対応（経営の効率化）



これらを踏まえ、再編の影響を極力抑制しつつ、最大限の便数確保を目指す。

○利用者の移動利便性の確保

- ・乗り継ぎや系統整理の工夫

<現時点でのダイヤ編成等の概要>

令和3年8月時点

●運行便数：現1,668 ⇒ 新1,479（△189.△11.3%）

●再編概要

- ・全体的な便数削減
（重複路線や便数が多い地区は大きく減便）
- ・乗継地点増設（相浦地区）
- ・循環系統新設（相浦一佐世保駅、花高一塔）
- ・可能な限りの等間隔ダイヤの編成
- ・早朝ダイヤ、深夜ダイヤのカット

【利便性の低下が大きい変更】

種別		要因区分	路線名	変更概要	利用状況 (乗降) 人/日・便	変更に伴う影響への対応
基幹路線	都市核 地域核	減便 経路変更	相浦栈橋線 P12 P14	・相浦栈橋発着の系統は日野経由と大湊(SSK) 経由とし、大野経由は廃止する。 運行便数 93便⇒19便(△80%)	55.9人/日 0.6人/便	・フェリーとの全接続ダイヤを確保。 ・『木宮町』、『長崎県立大学前』から相浦循環線等への乗継により接続。 ・相浦循環線新設による便数を確保。 ・佐々発着系統で相浦郵便局前～木宮町間をカバー。
	地域核 生活核	経路変更	西海橋線	・一部をクレール経由とする。	—	—
		経路変更	江上小学校線	古道線、針尾米軍住宅線以外は、西海橋線を登下校ダイヤとして利用。	88.5人/日 27.9人/便	・西海橋線の一部をクレール経由とし、江上小登下校時間に合わせ運行。 ・『江上小学校入口』バス停乗降での利用が可能。 ※『江上小学校』～『江上小学校入口』間約300m
補完路線	都市核 生活核	廃止 減便	卸団地・ 大岳台線 P11	・大岳台循環系統を廃止し、佐世保駅—大宮—桜馬場—大岳台—尼瀧—大宮—佐世保駅方面の往復系統とする。	3.5人/日 1.2人/便	・大岳台中央から尼瀧方面は6:50、7:40通過(予定)、桜馬場方面は7:15、8:09通過(予定)とし、通勤通学時間帯は確保。 ・大岳台中央と佐世保駅間は1時間に1便の間隔でダイヤ設定。
		減便 経路変更	もみじが丘線 P14	・重尾発着のもみじが丘経由を大幅に減便する。 運行便数 101便⇒●●便(△●●%) ・下の原発着の系統をもみじが丘経由とし黒髪発着とする。 ・もみじが丘から早岐方面が大幅減便。 運行便数 ●●便⇒●●便(△●●%)	633人/日 6.3人/便	・黒髪発着系統の一部を大塔小学校前まで延長し、もみじが丘線をフォローする。 ・もみじが丘線を大塔小学校発着とすることで、遅延を減少する。 ・等間隔にダイヤを設定する。

【利便性の低下が大きい変更】

種別		要因区分	路線名	変更概要	利用状況 (乗降) 人/日・便	変更に伴う影響への対応
補完路線	地域核 生活核	減便 経路変更	花高団地 (若竹台)線 P16	<ul style="list-style-type: none"> ・早岐支所シルバーポール発着の花高経由を全て重尾発着の花高経由とする。 ・花高1丁目発金田橋経由東翔高校行を廃止し、花高経由路線を東翔高校まで延長する。 ・花高経由の一部を若竹経由とする。 	79人/日 2.8人/便	<ul style="list-style-type: none"> ・川棚線の一部、宮津町線を花高経由の重尾発着とし、早岐支所シルバーポールから花高線をフォローする。
	生活核 周辺集落	経路変更	東部営業所 宮津町線 P17	<ul style="list-style-type: none"> ・東部営業所発着（金田橋経由）を廃止する。 ・宮津町発着系統を金田橋～早岐支所シルバーポール～花高団地～金田橋～重尾とする。 	49.2人/日 2.6人/便	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津町発着系統で、重尾～東部営業所～金田橋区間をカバー。 ・早岐地区から市中心部への乗継ダイヤの設定。

【利便性の向上につながる変更】

種別		要因 区分	路線名	変更概要	効果
基 幹 路 線	都市核 地域核	経路新設	相浦循環線 P14	・西高校入口、矢峰を発着とする日野峠～木宮町～本山～野中町経由に佐世保駅発着を追加。	<ul style="list-style-type: none"> ・等間隔運行により利便性が向上。 ・日野峠経由の運行の効率性が向上。 ・谷郷町～松浦町国際通り間の便数が増加。 ・木宮町～大野方面間の便数が増加。
	地域核 生活核	経路新設	花高－ 大塔循環線 P16	<ul style="list-style-type: none"> ・花高団地線の一部を重尾～花高～大塔インター口～花高～重尾の循環とする。 ・10～16時間で4便（2時間に1便）程度運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設集積地域との連絡を創出することで利便性が向上。
		経路変更	佐世保－松浦線	・バイパス本山経由に変更。	<ul style="list-style-type: none"> ・佐世保－松浦駅前間の速達性が向上。（4分程度短縮）
補 完 路 線	地域核 生活核	経路新設	母ヶ浦線 P14	・佐世保駅前－母ヶ浦を結ぶ循環系統とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・循環系統とすることで、母ヶ浦から長崎県立大学前方面へ乗継なしで利用が可能。
	生活核 周辺集落	経路新設	展海峰線	・展海峰発着を九十九島観光公園まで延長する。	<ul style="list-style-type: none"> ・九十九島観光公園までの移動の利便性が向上。

【速達性向上のための社会実験について】

西九州道自動車道を活用した路線バスの速達性の効果検証ため、相浦地区～市街中心部間において社会実験を行う。

【利便性の低下と向上を併せ持つ変更】

種別		要因 区分	路線名	変更概要	変更に伴う影響への対応	効果
基幹 路線	都市核 生活核	経路変更	東翔高校線 P16	<ul style="list-style-type: none"> 東翔高校発着系統は金田橋経由とする。ただし、広田工業団地経由の東翔高校発着系統は、広田3丁目経由とする。 東翔高校臨時便対応は基本行わない。 	<ul style="list-style-type: none"> 臨時便に関しては『東翔高校入口』バス停の利用で対応。 (東翔高校まで約500m) 	<ul style="list-style-type: none"> 東翔高校までの時間短縮。(延着による遅刻防止) 約3分短縮
	地域核 生活核	経路変更	重尾線 P16	<ul style="list-style-type: none"> 重尾線の一部を金田橋経由とする。 広田三丁目経由の減便。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 東翔高校生が利用可能となる。 (東翔高校入口バス停)
		経路変更	知見寺線 P15	<ul style="list-style-type: none"> 天の久保発着ダイヤをカット。 知見寺線は吉井発着とする。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 知見寺方面から吉井行きの場合は、直通となり利便性が向上。
補完 路線	生活核 周辺地域	経路変更	妙観寺線 P15	<ul style="list-style-type: none"> 妙観寺トンネル経由とする。 (迂回終了) 十文野経由と下小川内経由に分ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止区間の地区に対するデマンドタクシーの結節点を増設。 	<ul style="list-style-type: none"> トンネル経由となり速達性向上。 約8分短縮。 経路変更により十文野線を維持

【廃止路線（区間）・廃止バス停 一覧】

※平日の運行、利用状況

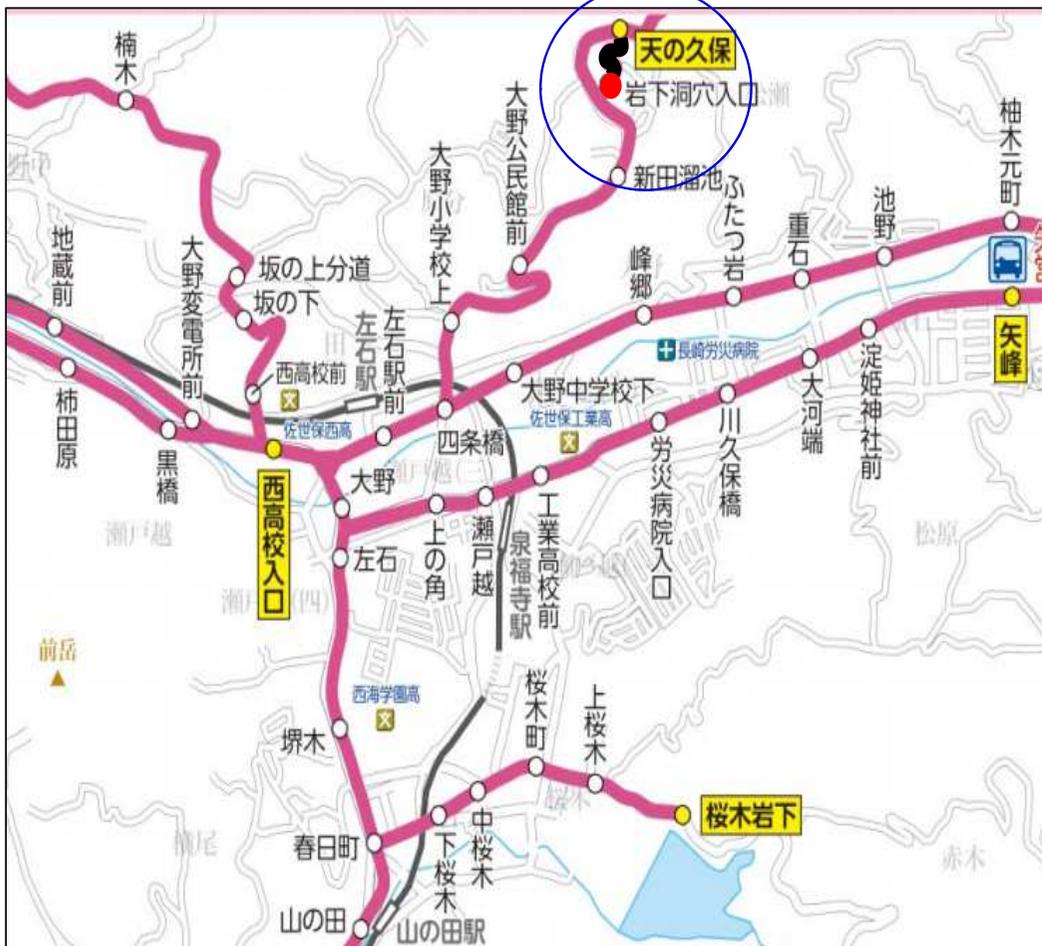
種別		路線名	廃止区間 ※ 下記全て、バス停区間の一部	運行状況 (往復) 便/日	廃止バス停	利用状況 (乗降) 人/日	廃止に伴う影響への対応
基幹路線	都市核 地域核	水産市場線	「水産市場前」～水産市場入口 P10	2.0	水産市場前	0.5	水産市場入口バス停に振替
	地域核 生活核	吉井江迎線	「江迎」～「佐世保駅前」	—	—	—	佐世保－平戸線、佐世保－松浦線を等間隔にダイヤ設定
		佐世保－松浦線	「辻田」～「立道」（草の尾経由） P8	0.5	草の尾入口	0.0	辻田バス停に振替
		知見寺線	「新田溜池」～「天の久保」 P9	4.0	岩下洞穴入口	3.5	天の久保バス停に振替
補完路線	地域核 生活核	母ヶ浦線	「竹辺町」～「木宮町」 P10		なし		—
		小野町線	「小野町」～「小野春陽台前」 P10	6.0	小野町	1.3	小野春陽台を利用（約200m）
			「相浦小学校前」～「木宮町」 P10		相浦小学校前（一部）		県道側のバス停に統合
		花高団地線	「小森橋」～「権常寺別道」 P11		小森橋（一部）		権常寺新町バス停に振替
		エコスパ線	「クレールの丘北口」～「エコスパ佐世保」 P11		なし		—
		卸団地線	「卸本町入口」～「卸団地会館前」 P11	0.5	卸団地会館前	0.0	卸本町バス停に振替
		大岳台線	「尼瀧」～「大岳台中央」 P11	1.5	大岳台町、佐世保学園入口	3.5	大岳台中央バス停に振替
		パールシー線	「鹿子前大芝生広場前」～「動植物園前」 P10	1.0	磯辺、石岳トンネル口、下石岳	0.5	パールシー、上バス停に振替
	星和台線	「星和台南」～「美鳥ヶ丘」 P10		星和台北（移設）		星和台北（移設）	
	生活核 生活核	楠泊江迎線	「佐々役場」～「見返橋」（黒石経由） P8	2.0	黒石、黒石中央	3.0	見返橋バス停に振替
生活核 周辺集落	宮津町線	「広田中学校前」～「小森橋」 P11	4.0	広田小学校入口	6.5	下小森橋バス停に振替	
	佐々－檜巻線	「佐々バスセンター」～「檜巻」	—	—	—	・知見寺経由世知原行を吉井まで延長、檜巻～吉井間を確保。 ・吉井～佐々間は、佐世保平戸線、佐世保松浦線と乗継ダイヤ設定。	
	妙観寺線	「下小川内」～「乙石尾」-P9図-	6.0	妙観寺峠、峠公民館前、樽川内砕石場前、樽川内	6.8	牧の地～堂の脇間は、菰田線の経路変更で対応	

廃止路線（案）



免許申請路線及び廃止路線（案）

廃止路線	—————
●廃止バス停	岩下洞穴入口



免許申請路線	■■■■■
廃止路線	—————
●廃止バス停	妙観寺峠 峠公民館前 樽川内砕石場前 樽川内

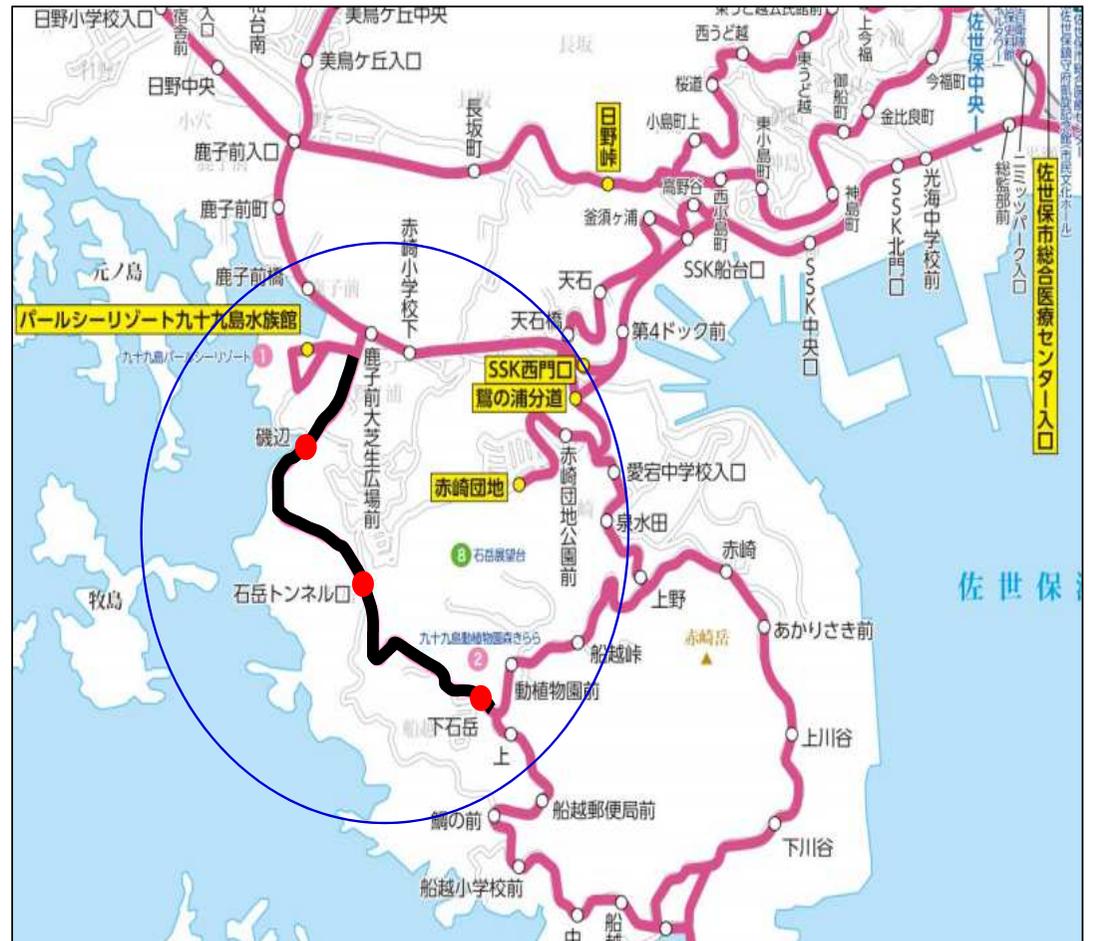


廃止路線（案）

廃止路線	――
● 増設バス停	星和台北
● 移設バス停	木宮町 星和台北 長崎短大・九文高校
● 廃止バス停	小野町 水産市場前



廃止路線	――
● 廃止バス停	磯辺 石岳トンネル口 下石岳



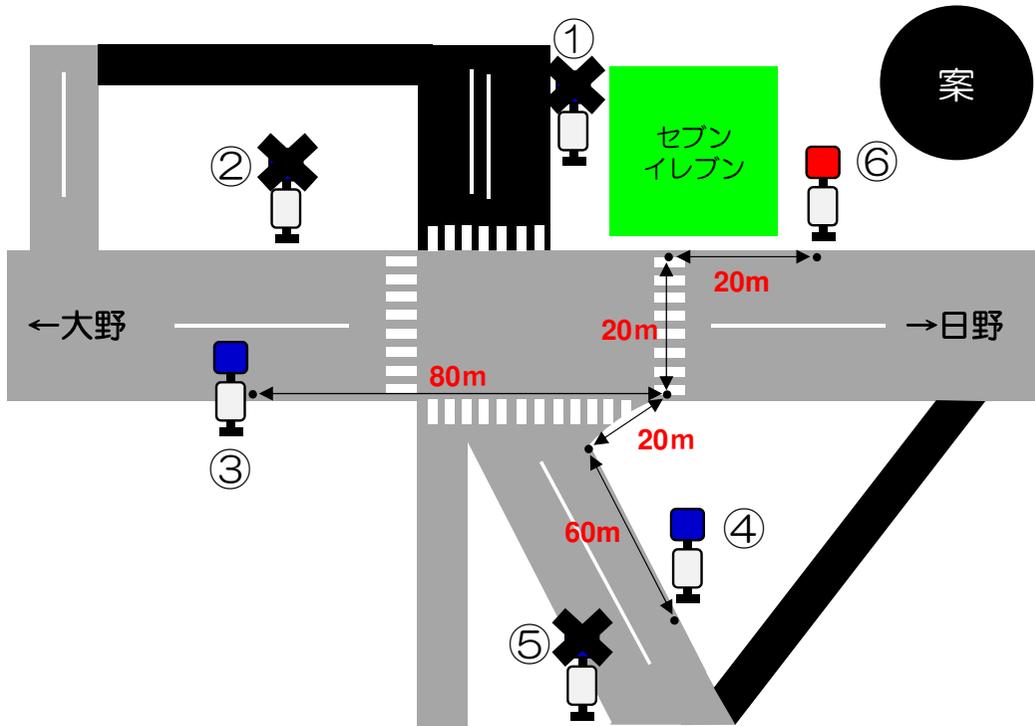
免許申請路線及び廃止路線（案）

免許申請路線	
廃止路線	
● 増設バス停	宮崎橋 金田橋
● 撤去バス停	小森橋 (廃止路線上の1本)
● 廃止バス停	広田小学校入口

廃止路線	
● 撤去バス停	大岳台中央 (廃止路線上の1本)
● 廃止バス停	卸団地会館前 大岳台町 佐世保学園入口

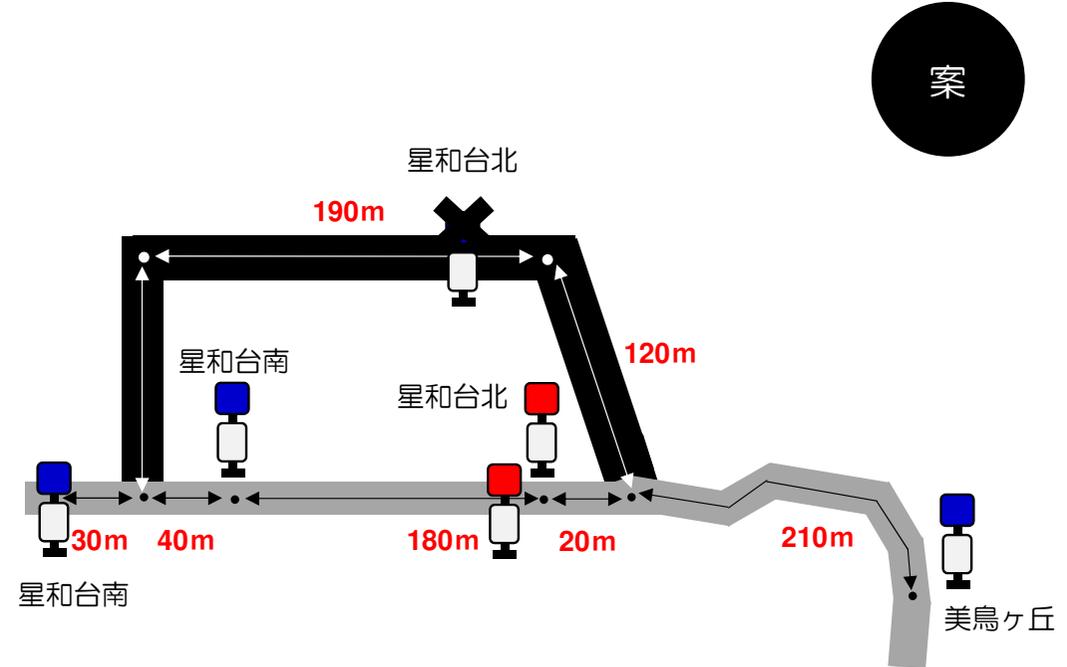


『木宮町』バス停移設（案）



①	廃止（木宮町発専用）
②	廃止（大野方面から日野方面もしくは大崎町専用）
③	日野方面から大野方面・佐々（小浦）から大野方面専用
④	（小浦）佐々・相浦行き専用
⑤	廃止（相浦・佐々方面から日野・大野方面専用）
⑥	新設（小浦）佐々もしくは大野方面から日野方面専用

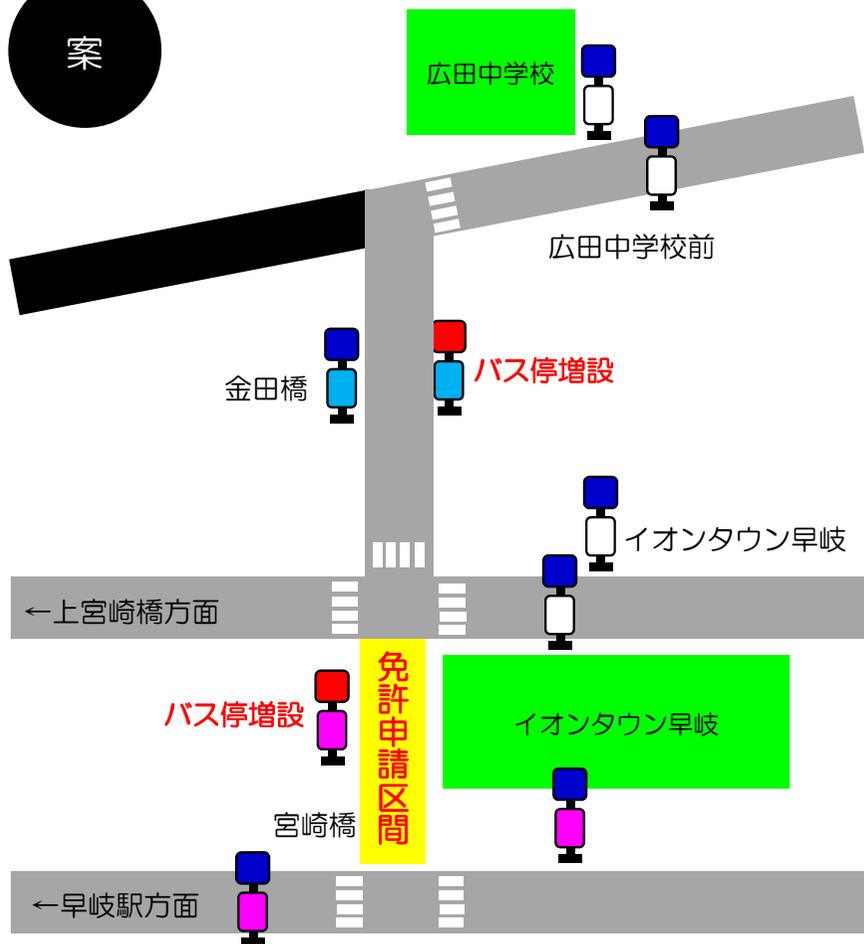
『星和台北』バス停移設・増設（案）



- 佐世保駅方面から
佐世保駅前⇒⇒美鳥ヶ丘⇒星和台北⇒星和台南⇒⇒木宮町
- 木宮町から
木宮町⇒⇒星和台南⇒星和台北⇒美鳥ヶ丘⇒⇒佐世保駅前

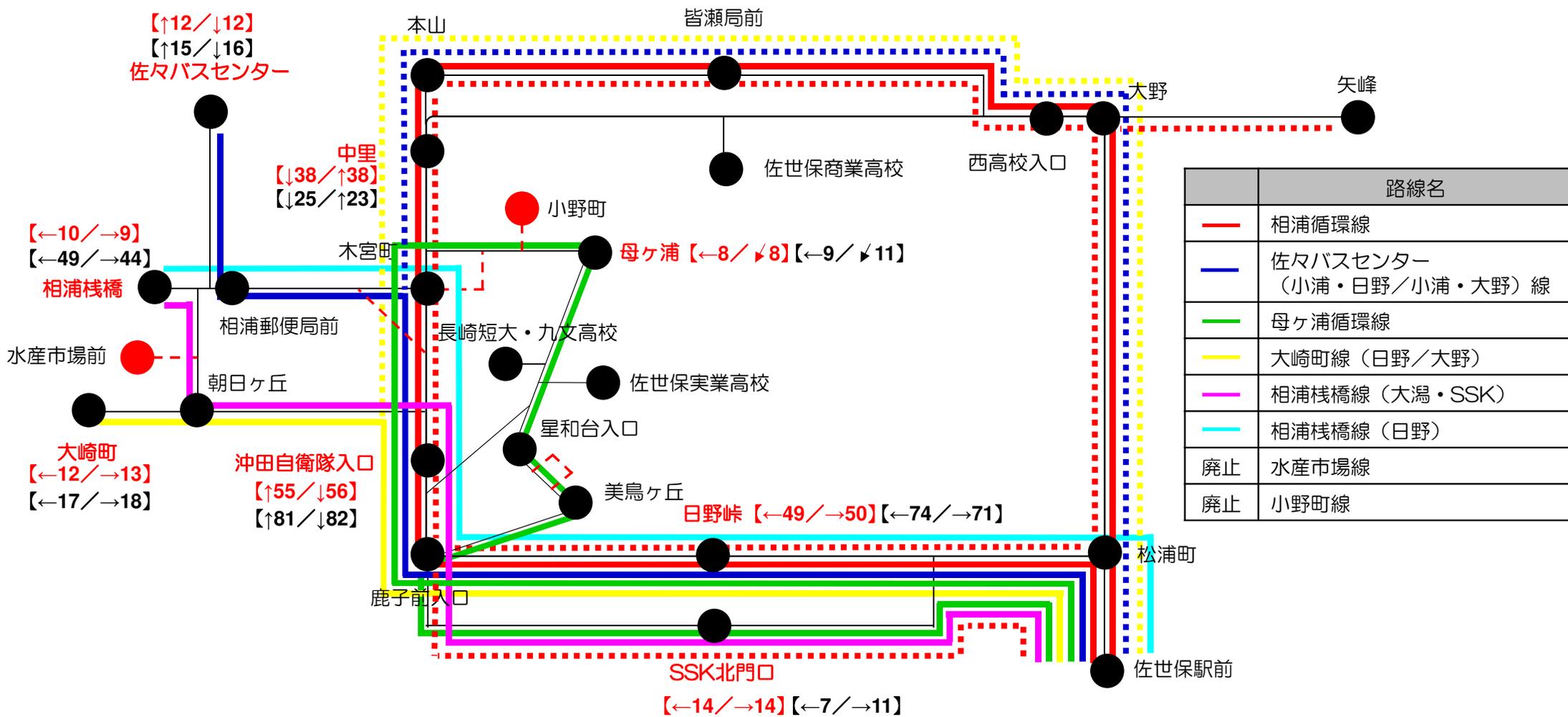
『金田橋』『宮崎橋』 バス停増設（案）

案



路線図（相浦地区）

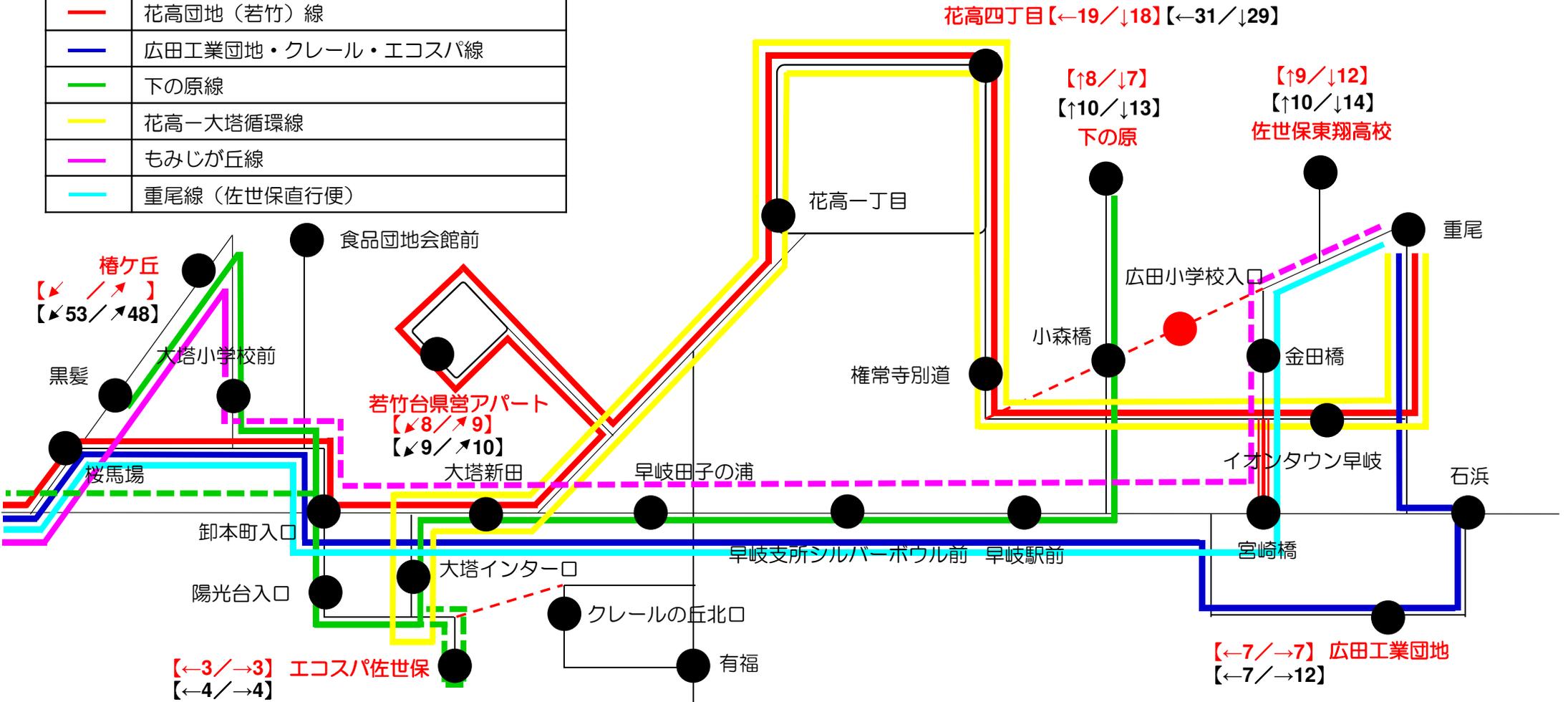
※数字は運行便数
 ※赤は計画案、黒は現行
 ※矢印は運行方向
 ※路線図上の運行便数を記載



路線図（早岐地区）

※数字は運行便数
 ※赤は計画案、黒は現行
 ※矢印は運行方向
 ※路線図上の運行便数を記載

路線名	
—	花高団地（若竹）線
—	広田工業団地・クレール・エコスパ線
—	下の原線
—	花高一塔循環線
—	もみじが丘線
—	重尾線（佐世保直行便）



路線図（佐世保～ハウステンボス・川棚・宮津町）

※数字は運行便数
 ※赤は計画案、黒は現行
 ※矢印は運行方向
 ※路線図上の運行便数を記載

